

令和2年度 三次市立吉舎中学校学校評価シート

【中期経営目標】 1 確かな学力 ~ 「自学力」を育み、学び続ける意欲・学習習慣の定着

2 豊かな心・健やかな体 ~ 生徒の主体性・自己有用感の向上

3 健やかな体 ~ 心身ともに、逞しい生徒の育成

4 信頼を集める学校 ~ 地域を生かし、地域に生かされ、信頼される学校

	短期経営目標	目標達成のための方策	評価指標	前年度実績	今年度		評価	達成状況
					目標値	12月実績値(7月)		
基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着	・個に応じた指導の工夫(個別対応)		実力テスト(5教科)で30%以下の生徒の割合が3年生10%以下、1・2年生は20%以下とする 5教科の20%以下を0%にする	1年-92% 2年-100% 3年-77.2%	90%			
			保護者の満足度(アンケート「学力を高める取組をしている」)	91.1%	95%			
「自学力」の育成(主体的に学ぶことのできる授業の創造)	・課題発見解決型(活用力育成)の授業の実施 ・ICTを活用した授業の創造 ・読書習慣の定着(読む・創造する力)		予習・復習を計画的に行っている	68.1%	80%			
			「『自らもっと学びたい・知りたい・調べたい』授業がある」と答える生徒の割合	70.4%	80%			
			本を1か月に1冊以上読む生徒の割合	83.3%	85%			
			全教科、課題発見・解決学習の単元開発を行う	100%	100%			
一人一人が、家庭学習の目標時間を設定して達成できる。	・予習・復習を生かせる授業づくり ・家庭学習とリンクした授業の実施 ・個に応じた自主学習ノートの勧め(未定着生徒への意欲付けを具体的に行う。プリント配布も可)		家庭学習時間の各自の目標時間を達成した生徒の割合(アンケート)(年3回実施)	休日 55.5% 平日 48.5%	休日 90% 平日 90%			
			家庭学習の定着における保護者の満足度(アンケート)	78.8%	80%			
○志のある生徒の育成 ○おもてなしの心を持った生徒の育成	・生徒の主体性・自己有用感の向上		「もっと考えてみたい」「もっと学んでみたい」という、学びへの意欲が高い生徒の割合を前回の意識調査より高くする(年3回実施)	1年 73.9%→66% 2年 66.7%→61% 3年 81.8%→80%	前回よりも ポイントアップ			
			生徒会委員会活動の活性化 ・部活動、ボランティア活動、体験活動・地域貢献活動の充実	1年 78.3%→83% 2年 88.9%→77% 3年 90.9%→90%	80%			
○自分の成長と周りの人の成長を素直に喜びあえる生徒の育成	・学校行事、生徒会行事の活性化		生徒の自己有用感(アンケート「体育祭や文化祭などやり遂げられてうれしく思う行事がある」)	1年 84% 2年 73% 3年 86%	80%			
健やかな体	1年間を通して基礎体力の向上を図る	・体力テストを2回実施、目標設定し、2回目の数値を向上させる	8種目中、5種目以上数値が向上する生徒の割合	38.8%	85%			
信頼される学校	地域を生かし、地域に生かされ、信頼される学校	・学校行事の充実と情報発信 ・総合的な学習の時間の充実や地域とのふれあい行事の充実 ・ボランティア活動の充実	<情報発信と公開> ホームページを充実(週1回以上の発信)する 学校通信(月1回以上の発行、地域への発信) <地域との交流> 年1回以上、行事やボランティア活動を通して小学校、高校、自治振興会、各種団体との連携を図る <外部人材の活用> 小中で人材バンクを作成し活用する(学力補充、スポーツ指導、営農指導、郷土史指導など)		100%			

*評価について A : 目標値を上回っている B : 目標値の90~99% C : 目標値の89%以下